

令和4年度 第1学年

学習のてびき

奈良県立十津川高等学校

組 番	氏名
-----	----

令和4年度 第1学年 開講科目

- ① …… 現代の国語
- ② …… 言語文化
- ③ …… 歴史総合
- ④ …… 数学 I
- ⑤ …… 化学基礎
- ⑥ …… 生物基礎
- ⑦ …… 体育
- ⑧ …… 保健
- ⑨ …… 美術 I
- ⑩ …… 英語コミュニケーション I
- ⑪ …… 論理・表現 I
- ⑫ …… 家庭基礎
- ⑬ …… 情報 I
- ⑭ …… 木工芸基礎

【国語科】 現代の国語	教科書	新編 現代の国語（東京書籍）			
	副教材	（随時プリント配布）			
履修学年	第1学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇国語を適切に表現し、的確に理解する。◇伝え合う力を高める。◇思考力や想像力を伸ばす。
- ◇心情を豊かにする。◇言語感覚を磨く。◇言語文化に対する関心を深める。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇授業では、評論文を扱います。普段から読書に親しむことで文章感覚を養いましょう。
- ◇さまざまな文章を読む中で、自分の意見を持ち、積極的に授業に参加してください。

学習計画（考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	自己を見つめる	こそめスープ	・著者独自の考え方を読み取る。
	他者に出会う	水の東西	・日本文化の特質について理解を深める。
	言葉と生活	集めた情報の内容を検討して意見文を書こう	・情報を集めて検討し、構成を工夫して意見文を書く。
二学期	視野を広げる	スキマが育む都市の緑と生命のつながり	・身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。
	社会と関わる	憧れの職業について調べ、整理してまとめよう	・調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。
	視野を広げる	情報を整理しながら話し合おう	・話し合いの進め方を工夫し、考えを深める。
	言葉と生活	新聞記事を読んで意見文を書こう	・記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。
三学期	世界とつながる	読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう	・助言をもとに推敲して、よりよい文章に仕上げる。
	未来に目を向ける	資料を活用して発表しよう	・発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。

学習評価（成績評価は、次の3つの観点において、A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います。）

評価項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・小テスト ・単元テスト		・発表 ・紹介文 ・意見文 ・話し合い ・授業プリントの記述 ・単元テスト	・授業に取り組む姿勢 ・課題等の出来映え、提出状況 ・授業プリント、振り返りシート
評価指標	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇国語力は一朝一夕に身に付くものではありません。日々の取組を大切に、一緒に国語に親しむことで、力を付けていきましょう。

【国語科】 言語文化	教科書	新編 言語文化（東京書籍）			
	副教材	覚えやすく忘れにくい精選古文単語 300PLUS(三省堂) 授業で配付するプリント			
履修学年	第1学年	履修形態	必修 選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

- ◇国語を適切に表現し、的確に理解する。◇伝え合う力を高める。◇思考力や想像力を伸ばす。
◇心情を豊かにする。◇言語感覚を磨く。◇言語文化に対する関心を深める。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

- ◇授業では、小説や随筆に加え、古典も扱います。普段から読書に親しむことで文章感覚を養いましょう。また、日々の授業内容の復習を大切にしてください。
◇さまざまな文章を読む中で、自分の意見を持ち、積極的に授業に参加してください。他者の意見にも耳を傾け、自分の考えと比較することで、理解を深めましょう。

学習計画(考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	随筆	「さくらさくらさくら」	・著者の心情や考えを読み取る。 ・日本人の感覚について考える。
	古文入門	古文に親しむ	・歴史的仮名遣いを理解する。
	古文入門	「児のそら寝」	・歴史的仮名遣いを理解する。 ・本文を読み味わい、話の面白さを理解する。
	漢文入門	故事成語	・漢文訓読の規則を理解する。
二学期	小説2	『羅生門』	・光景や登場人物の心情、主張を読み取る。 ・作者について理解する。
	随筆2	『徒然草』	・本文を読み味わい、話の面白さを理解する。
	詩歌	折々のうた	・和歌の規則を理解し、読み味わう。
	漢詩	絶句と律詩	・漢詩の規則を理解し、読み味わう。
三学期	小説3	「デューク」	・心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して展開を捉える。
	物語	『伊勢物語』	・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A+、A、B、C、C-の5段階で行います)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・小テスト ・単元テスト	・スピーチや話し合い等の言語活動 ・授業プリントの記述内容 ・単元テスト	・授業に取り組む姿勢 ・課題等の出来映え、提出状況 ・授業プリント、振り返りシート
評価指標	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

留意点(担当者からのメッセージ)

- ◇国語力は一朝一夕に身に付くものではありません。日々の取組を大切に、一緒に国語に親しむことで、力を付けていきましょう。

【地理歴史科】 歴史総合	教科書	歴史総合 わたしたちの歴史 日本から世界へ(山川出版社)			
	副教材	使用しません(補助プリント等)			
履修学年	第1学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

- ◇前近代の歴史の変化に関わる諸事象について、幅広い視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
- ◇前近代の歴史の変化に関わる事象について、多面的・多角的に考察し、論議する力を身に付ける。
- ◇自国や他国の文化を尊重し、主体的に歴史を学ぶ力を身に付ける。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

- ◇整理プリントを用い、教科書に沿って授業を進めます。歴史的なエピソード等を多く紹介しながら、興味をもてるように授業を行います。
- ◇単元毎に考查を行います。考查以外の発表や提出物、グループ活動等に積極的に取り組むことが大切です。
- ◇歴史を広い視野でみて、現代と前近代が結びついていることを探究します。

学習計画(考查は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	近代化と私たち	18世紀の世界とアジア 産業革命 アヘン戦争と日本 日本の開国 日本開国期の国際情勢 開国後の日本社会 市民革命と国民統合 明治維新	<ul style="list-style-type: none"> ・18世紀のアジアとヨーロッパ諸国、日本の「鎖国」体制について考えます。 ・産業革命で民衆の生活がどのように変化したのかについて話し合います。 ・アヘン戦争に清が敗れたことが、世界に与えた影響を考えます。 ・日本がなぜ開国に至ったのかを考え、発表します。 ・日本開国期の国際情勢について調べます。 ・開国と倒幕運動の結びつきについて話し合い、発表します。 ・市民革命等がその後に世界に与えた影響について考えます。 ・明治新政府がどのようにして天皇中心国家を築いたのかを話し合います。
二学期	近代化と私たち 国際秩序の変化や大衆化と私たち	富国強兵と文明開化 日本の明治初期の外交 大日本帝国憲法の制定 日本の産業革命と日清戦争 帝国主義 日露戦争と韓国併合 大衆運動の芽ばえ 第一次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・富国強兵と文明開化の結び付き、与えた影響について考えます。 ・日本の領域が画定したことを理解し、現代の領土問題について考えます。 ・大日本帝国憲法が制定される経緯について話し合います。 ・日清戦争の背景を理解し、日本の勝利が列強に与えた影響を考えます。 ・列強の動向について調べ、発表します。 ・日清戦争と日露戦争の時期に日本に何があったかを考え、話し合います。 ・日本の東アジア進出と列強の反応について考えます。 ・第一次世界大戦の性格について調べ、発表します。
三学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦と日本 ロシア革命とその影響 社会運動の広がり 国際協調 アジアの民族運動	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦中の日本の経済状況について調べます。 ・ロシア革命が世界に与えた影響について考え、話し合います。 ・世界で権利意識が高まった要因について話し合い、発表します。 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴や与えた影響を考えます。 ・アジアの諸地域の民族運動が、その後の歴史に与えた影響を考えます。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A+、A、B、C、C-の5段階で行います)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・レポート課題 ・討論・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題 ・学習の振り返り ・授業態度全般
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象に関する知識問題で、目標とする基準への到達状況を評価します。 ・表やグラフ、写真等の資料を正確に読み取ることができているかを評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象を踏まえて自分の考えを適切に表現できているかを評価します。 ・グループ協議やペアワークで建設的な意見交換ができているかを評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象について興味をもったり疑問に思ったりしたことを見いだそうとしているかを評価します。 ・レポート課題の内容や授業態度の状況を評価します。

留意点(担当者からのメッセージ)

- ◇歴史から現在の生活に活かせることはたくさんあります。暗記するだけでなく、「もし…だったら」と考えることが大切です。
- ◇様々な角度から歴史を眺めると、いろんな「気づき」に出会えます。

【数学科】 数学 I	教科書	改訂版 最新 数学 I (数研出版)			
	副教材	新課程書き込み式シリーズ Study-Up ノート 数学 I (数研出版)			
履修学年	第1学年	履修形態	必修・選択	履修単位	3単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

- ◇数と式、図形と計量、二次関数、データの分析について理解し、その知識・技能の習熟を図る。
- ◇事象を数学的に考える力を身に付けるとともに、数学の良さがわかる。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

- ◇教科書・授業プリント・Study-Up ノートを計画的に利用することにより、予習・復習を網羅していきます。ただしその定着のためには、繰り返し行うことが更に必要です。
- ◇1学期開始時から「標準」と「基礎」の習熟度別(考査・評価方法は同じ)に授業を行います。クラス分けは、①新入生テスト、②小テスト・単元テスト③本人の希望から総合的に判定します。
- ◇毎回の授業で、課題を設定するので、必ず次の授業で提出してください。

学習計画(考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	数と式	数と式	・数や式についての用語の意味を理解し、展開や因数分解、平方根を含む計算など基本的な計算をします。
		1次不等式 集合と命題	・不等式を意味を理解し、解を求めます。 ・集合と要素、命題と条件について理解し、論理的な思考をします。
二学期	2次関数	2次関数のグラフ	・関数の概念や用語を理解し、式を変形したりグラフを書いたり、最大値・最小値を求めたりします。
		2次方程式と2次不等式	・2次方程式の解を求める。判別式の符号と解の個数の関係などを理解する。2次不等式を解く。
三学期	図形と計量	三角比 正弦定理・余弦定理	・三角比の意味を理解し、その値を求める相互関係や正弦定理・余弦定理を理解しそれらを活用できるようにする。
	データの分析	データの分析	・データの整理・特徴・散らばり具合や相関関係について理解する。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・小テスト ・単元テスト ・課題提出	・授業中の質疑応答 ・小テスト ・単元テスト	・授業態度等 ・課題提出 ・単元テスト
評価指標	・目標とする基準への到達具合で評価します。 ・公式の確認を含む単元テストで知識の習得具合を見て評価します。 ・定期的な小テストと課題の実施で知識理解の定着度合を評価します。	・問題へのアプローチを自分の言葉や数式で表現できているかを見て評価します。 ・現実事象を数学的モデルで表現し、計算処理等を行うことできるかどうかで評価します。	・積極的に取り組む姿勢を見て評価します。 ・授業態度や提出課題の状況を評価します。

留意点(担当者からのメッセージ)

- ◇授業においては学ぶ姿勢が大切です。目標をもって学習に取り組んでください。
- ◇知識や理解の定着に近道はありません。繰り返し復習をし、その過程で理解を深めてください。

【理科】 化学基礎	教科書	新編 化学基礎(数研出版)			
	副教材	新課程 新編 化学基礎 準拠 サポートノート(数研出版) 新課程版 スクエア最新図説化学(第一学習社)			
履修学年	第1学年(ふる)	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

- ◇ 身近な生活で利用されている物質とその変化を、科学的な視点で探究し、理科の見方や考え方を身に付ける。
- ◇ 実験や観察に対し、見通しをもって予想や仮説を立て、科学的な探究に必要な資質・能力を身に付ける。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

- ◇ 教科書、プリント、視覚教材等を活用し、視覚的にイメージしやすい授業を展開します。
- ◇ 実験や観察を行い、理科の醍醐味である「なぜだろう」という疑問をもち、考える授業を行います。

学習計画(考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	1 物質の構成 2 物質の構成粒子 3 粒子の結合	・混合物と純物質/物質の三態 ・原子/イオン/周期表 ・化学式/化学結合と結晶	・多種多様な物質を観察し、物質の成り立ちについて ・原子やイオンの構造や表し方や関係性について ・個々の粒子の結合の仕方とその性質について
二学期	4 物質質量と化学反応式 5 酸と塩基の反応	・原子量/物質質量/溶液の濃度 ・酸・塩基/水素イオン濃度/中和滴定	・物質の質量や数、気体の体積と物質質量の考え方について ・酸と塩基の性質、強さや中和について
三学期	6 酸化還元反応	・酸化数/酸化剤・還元剤/イオン化傾向	・酸化還元反応における電子の授受について

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・小テスト ・実験・実習の技能 ・単元末テスト	・レポート、課題 ・単元末テスト	・学習の記録(ワークシート等) ・授業態度
評価指標	・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

留意点(担当者からのメッセージ)

- ◇ 知識を習得し、活用して思考することが大切です。小テストや日々の授業で少しずつ知識を定着させましょう。
- ◇ 「なぜだろう」と疑問をもち、その原理を考える過程を楽しみましょう。

【理科】 生物基礎	教科書	新編 生物基礎 (数研出版)			
	副教材	新編 生物基礎サポートノート (数研出版) ニューステージ新生物図表 (浜島書店)			
履修学年	第1学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

- ◇多様な生命現象の中から法則を導き、共通性を見いだしていく。
- ◇観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

- ◇教科書、図表、視聴覚教材を活用して授業を進めます。
- ◇小テストを定期的に行うことで知識の定着を図ります。

学習計画(考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	(1)生物と遺伝子	1.生物の特徴 生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー	・生物は多様でありながら共通性をもっていることと生命活動に必要なエネルギーと代謝について学習する。
		2.遺伝子とそのはたらき 生物と遺伝子 遺伝情報の分配	・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について学習し、遺伝情報が伝えられるしくみを理解する。
二学期	(2)生物の体内環境の維持	遺伝情報とタンパク質	・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを学習する。
		3.生物の体内環境の維持 体内環境 体内環境の調節 免疫	・血液・肝臓・腎臓による恒常性について学習する。 ・生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識する。
三学期	(3)生物の多様性と生態系	4.生物の多様性と生態系 植生の多様性と分布 気候とバイオーム 生態系とその保全	・生物の多様性と生態系について、生態系の成り立ちを理解させ、その保全の重要性について認識する。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・小テスト ・単元テスト ・観察・実験の操作手順	・授業中の質疑応答 ・実験観察レポートの考察等 ・実験における工夫点 ・小テスト ・単元テスト	・小テスト ・単元テスト ・課題提出 ・授業態度等
評価指標	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察・実験を行い、基本操作を習得する。	・自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

留意点(担当者からのメッセージ)

- ◇実験・観察は積極的に活動し、その時間の成果を出すよう努力してください。
- ◇生物にはロマンがあります。生物のロマンを感じてください。

【保健体育科】 体育	教科書	現代高等保健体育(大修館書店)			
	副教材	使用しません(随時プリントを配布)			
履修学年	第1学年	履修形態	必修選択	履修単位	3単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

- ◇運動の合理的、計画的な実践を通して知識を深めるとともに技能を高める。
- ◇自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

- ◇自己の興味、関心のある競技を見つけることができるよう、数多くの種目を学年全体で行う。
- ◇基本的には男女共習で行う。

学習計画

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	・体づくり運動 ・球技 ・武道 ・体育理論	・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動 ・ネット型/ゴール型/ベースボール型	・体力、運動の技能を高めるとともに、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、フェアなプレイをしようとする態度を養う。練習や作戦について話し合う活動を通してコミュニケーション能力を育成する。
		・剣道	・基本的な構え、竹刀操作、基本打突ができるようになる。 ・伝統的な考え方、礼法などを学び、理解する。
二学期	・体づくり運動 ・陸上競技 ・球技 ・武道 ・体育理論	・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動 ・跳躍、投てき、短距離走 ・ネット型/ゴール型/ベースボール型	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、フェアなプレイをしようとする態度を養い、体力、運動の技能を高める。 ・能率的な集団行動をできるようにする。
		・剣道	・得意技を用いた攻防が展開できるようにし、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう。 ・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切に、身に付ける。
三学期	・体づくり運動 ・陸上競技 ・武道	・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動 ・長距離走	・ペースの変化に対応した走りをするができるようになる。自己の記録に挑戦し、記録を向上させることができるようになる。
		・剣道	・得意技を用いた攻防が展開できるようにし、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・実技テスト ・観察評価 ・学習シート	・観察評価 ・学習シート	・観察評価(授業中の態度・行動、積極性、参加状況・見学回数、忘れ物を含む)
評価指標	・作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できている。 ・剣道では状況に応じ基本的な動きができるようになり、崩し、しかけ、応じができ、礼法を習得している。 ・技術や技の名称や行い方を理解できている。 ・各運動に関連した体力の高め方を理解している。	・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出している。 ・自己や相手の健康や安全に留意した練習や攻防ができている。	・授業に積極的、主体的に取り組み、仲間と協力したり、自己の責任を果たしたりしている。 ・勝敗を冷静に受け止め、ルールやマナー、チームワークを大切にしようとしている。

留意点(担当者からのメッセージ)

- ◇授業開始のチャイムが鳴るまでに更衣を済ませ、集合してください。
- ◇見学等の連絡がある者は事前に担当の先生に相談し、指示を受けてください。

【保健体育科】 保健	教科書	現代高等保健体育(大修館書店)			
	副教材	適宜プリントを配布			
履修学年	第1学年	履修形態	必修・選択	履修単位	1単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

◇個人生活及び社会生活における健康・安全に関する理解を通して、健康についての総合的な認識を深め、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、生涯を通じて自己の健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てます。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

◇「健康」に関わる問題を、様々な角度から捉えつつ、教科書に沿って授業を行います。

学習計画(考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	(1)現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	・健康に対する基本的な理解や健康を保持増進する方法を理解する。 ・生活習慣病を防ぐ方法を身に付け、がんの早期発見の重要性を理解する。 ・飲酒・喫煙が体にどのような影響を及ぼすか理解する。また、薬物乱用の問題、薬物乱用に対する対策を身に付ける。
二学期	(1)現代社会と健康 (2)安全な社会生活	精神疾患の特徴と予防 現代の感染症 性感染症とエイズ 意思決定行動選択 交通における安全	・適切なストレスへの対処を身に付ける。 ・感染症、エイズの問題点などを学習し、知識を身に付け、自らが予防できるようになる。 ・意志決定・行動選択の重要性や影響する要因、必要なことを理解する。 ・我が国の交通事故の現状を知るとともに、事故の原因と対策、及び交通社会で必要とされている資質と責任について学ぶ。
三学期	(2)安全な社会生活	応急手当	・応急手当や心肺蘇生法の方法や手順を理解し、日常や緊急時に適切な方法で実行できるようになる。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・単元テスト ・授業プリントの記入内容	・授業中の質疑応答 ・授業プリントの記入内容 ・単元テストにおける記述解答	・授業に取り組む姿勢 ・授業プリントの記入内容 ・提出物の整理
評価指標	・健康についての総合的かつ基礎的な知識の理解を深めている。	・健康に関するさまざまな問題や課題を見だし、整理したりするなどして、それらを説明している。	・健康の重要性を理解しようとし、資料を調べたり、見たり読んだりするなどの学習活動に積極的に取り組んでいる。

留意点(担当者からのメッセージ)

◇授業開始のチャイムが鳴るまでに、教科書・ノート・筆記用具の準備をし、着席してください。
◇人生を幸せに、そして健康に過ごすために学習を進めていきます。実生活と関連づけながら授業に取り組んでください。

【芸術科】 美術Ⅰ	教科書	美術Ⅰ(光村図書)			
	副教材	使用しません			
履修学年	第Ⅰ学年	履修形態	必修選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

◇美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を高める。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

◇教科書以外のプリントや資料も積極的に活用し、視聴覚教材を活用した授業を行う。
◇作品の造形やデザインに独自性があるものを多く取り入れられるように工夫し、豊かな感性を養う。

学習計画

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	オリエンテーション(鑑賞)	鑑賞	・作品を鑑賞し意見交換をすることで互いの作品に対する理解を深める。
	手帳の表紙デザイン	デザイン・表現 鑑賞	・生活とデザインの関わりを学ぶ。 ・作品を発表し、講評し合うことで相互理解を深める。
	彫刻・表現	材料と表現	・キューピットの矢をつくる。① ・木材の性質を理解する。
二学期	木でつくる	立体表現	・キューピットの矢をつくる。② ・木材の性質を理解する。
	風景を描く (足元の風景のトリミング)	絵画・表現	・フレームボードで地面をトリミングして足元の風景画を描く。 ・様々な風景画の視点や構図を鑑賞する。
	鑑賞	高文連巡回展の作品鑑賞	・作品を発表し、講評し合うことで相互理解を深める。 ・作品を鑑賞し作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。
三学期	構想と表現	デザイン・表現 鑑賞	・オリジナル国家を構想する。 ・オリジナル記念切手をつくる。 ・作品を発表し、講評し合うことで相互理解を深める。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・課題作品 ・ワークシート ・制作の様子	・ワークシート ・課題作品 ・鑑賞会の様子	・授業中の制作態度 ・授業中の鑑賞態度 ・授業を受ける態度 ・提出物
評価指標	・造形の要素の働きを理解している。[知識] ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージで 作風、様式などで捉えることを理解している。 [知識] ・意図に応じて材料や用具の特性を生かして いる。[技能] ・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創 造的に表している。[技能]	・自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったこ と、夢や想像などから主題を生成している。 [発想] ・表現形式の特徴を生かし、形体や色彩、構成 などについて考え、創造的な表現の構想を練 っている。[構想] ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心 情や意図と創造的な表現の工夫について考 え、見方や感じ方を深めている。[鑑賞]	・主体的に絵画・彫刻等の表現の創造 活動に取り組もうとしている。 [表現に対する態度] ・主体的に作品や美術文化等の鑑賞の 創造活動に取り組もうとしている。 [鑑賞に対する態度]

留意点(担当者からのメッセージ)

◇安全に十分に注意し、怪我や事故を未然に防ぐこと。作品、課題の提出は必ず期限を守りましょう。
◇授業では「見る、感じ取る、考える、調べる、つくり出す、伝える」などの芸術的理解力の育成を大事にしています。

【英語科】		教科書	VISTA English Communication I (三省堂)		
英語コミュニケーション I		副教材	使用しません(補助プリント等適宜利用)		
履修学年	第1学年	履修形態	必修・選択	履修単位	3単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

- ◇日常的な話題について、英語で聞いたことや読んだことを理解できる。
- ◇情報や考えなどを英語で伝える能力を養い、積極的にコミュニケーションを図れるようになる。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

- ◇クラス分けテストの結果により、「A,B,C」の習熟度別で授業を行います。共通の教科書を使用しますが、それぞれの到達度により授業の内容も異なり、あらゆる進路に対応した授業を行います。
- ◇教科書以外にも授業プリントなどを適宜利用することにより、予習・復習がスムーズにできるように進めます。課題の提出は必須です。
- ◇英語を使ってコミュニケーションを取ることを基本とします。短い文章を作る練習をします。難しく考えずに相手に伝えたいとか、相手のことを理解したいと思うことが大切です。

学習計画(考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	Lesson1:Colors of Spring Lesson2: Dick Bruna Lesson3: Interesting Sports Lesson4: Pictograms	be 動詞・一般動詞の現在形 be 動詞・一般動詞の過去形 現在進行形・過去進行形 助動詞・動名詞	・国による色の違いや、文化の広がりについて考えましょう。 ・作者の活躍を参考に、過去のことについて発表します。 ・挑戦してみたいスポーツを調べて紹介してみます。 ・助動詞や動名詞を使って表現の幅を広げましょう。
二学期	Lesson5: We Are Part of Nature Lesson6: Machu Picchu Lesson7: Artificial Intelligence Lesson8: Is There a Santa Claus?	不定詞 現在完了形 受け身 関係代名詞	・岩合光昭さんの写真を見て、自然について考えます。 ・訪れたことがある場所について発表します。 ・AIを利用することで何が可能になるか話し合います。 ・サンタクロースに手紙を書くとすれば、どう書きますか。
三学期	Lesson9: Kids' Guernica Lesson10: Ethical Fashion	名詞を修飾する分詞・関係副詞 比較	・ゲルニカに込められた願いを考え、話し合います。 ・ファッションを通して環境について考え、話し合います。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・単元テスト(英作文等) ・パフォーマンステスト (リスニング、発表、ディベート等)	・単元テスト(日本語による記述等) ・パフォーマンステスト (リスニング、発表、ディベート等)	・単元テスト ・パフォーマンステスト (リスニング、発表、ディベート等) ・授業態度全般 ・提出課題等
評価指標	・目標とする基準への到達具合で評価します。 英作文を含む単元テストで知識の習得具合を見て評価します。 ・パフォーマンステストにおいて英語の知識や正確さを見て評価します。	・自分のアイデアを表現できているかを見て評価します。 ・パフォーマンステストにおいて、他者の意見を聞き、考え、表現するといったコミュニケーション力を見て評価します。	・積極的に取り組む姿勢を見て評価します。 ・パフォーマンステストにおいて、その主体性を評価します。 ・授業態度や提出課題の状況を評価します。

留意点(担当者からのメッセージ)

- ◇難しく考えずに相手に伝えたいとか、相手のことを理解したいと思うことが大切です。
- ◇ALTの先生も一緒にチームティーチングをしてくれます。積極的に参加してください。

【 英語科 】	教科書	MY WAY Logic and Expression I (三省堂)				
	副教材	使用しません(授業プリントなどを適宜使用)				
論理・表現I	履修学年	第1学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

- ◇英語独特な構文を理解し、表現できるようになる。
- ◇情報や考えなどを英語で伝える能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図る。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

- ◇授業中の指示もできるだけ英語で行います。何度も出てくる同じ表現を自然に身に付けることができます。学んだことを積極的に使ってみてください。
- ◇教科書以外にも授業プリントなどを適宜利用することにより、予習・復習がスムーズにできるように進めます。課題の提出は必須です。

学習計画(考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	Lesson1:Let's Talk about Ourselves Lesson2:School Life Lesson3:The Arts Lesson4:Food culture	be 動詞・一般動詞の現在形 be 動詞・一般動詞の過去形、現在進行形、過去進行形 未来表現、基本時制のまとめ 現在完了形①、現在完了形②、現在完了進行形	・現在形、一般動詞を用いて自己紹介します。 ・過去形や進行形を用いて経験を発表します。 ・未来表現を用いて将来の夢を発表します。 ・現在完了を用いて料理注文の会話をします。
二学期	Lesson5>Welcome to Our Town Lesson6:Traveling Abroad Lesson7:Sports Lesson8:Everyday Technology	助動詞、受動態 不定詞①、不定詞② 動名詞、分詞の後置修飾、分詞構文 比較①、比較②	・助動詞、受動態を用いて道案内をしてみます。 ・不定詞を用いて、行ってみたい場所について発表してみます。 ・動名詞、分詞の後置修飾、分詞構文を用いて好きなスポーツを紹介します。 ・比較級を用いて、日常の様々なものを比べてみます。
三学期	Lesson9:Take Care Lesson10:SDGs-Take Action!	関係代名詞①、関係代名詞② 関係副詞、仮定法	・関係代名詞を用いて、身の回りのものを詳しく説明してみます。 ・関係副詞や仮定法を用いて、自分のことについて詳しく発表します。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・単元テスト(英作文等) ・パフォーマンステスト (リスニング、発表、ディベート等)	・単元テスト(日本語による記述等) ・パフォーマンステスト (リスニング、発表、ディベート等)	・単元テスト ・パフォーマンステスト (リスニング、発表、ディベート等) ・授業態度全般 ・提出課題等
評価指標	・目標とする基準への到達具合で評価します。 英作文を含む単元テストで知識の習得具合を見て評価します。 ・パフォーマンステストにおいて英語の知識や正確さを見て評価します。	・自分のアイデアを表現できているかを見て評価します。 ・パフォーマンステストにおいて、他者の意見を聞き、考え、表現するといったコミュニケーション力を見て評価します。	・積極的に取り組む姿勢を見て評価します。 ・パフォーマンステストにおいて、その主体性を評価します。 授業態度や提出課題の状況を評価します。

留意点(担当者からのメッセージ)

- ◇毎日の予習を必ず行ってください。英語は復習よりも予習が重要です。
- ◇外国語はパターン学習が効果的です。すぐに様々な表現ができるようになります。

【家庭科】		教科書	Creative Living「家庭基礎」で生活をつくろう(大修館)		
家庭基礎		副教材	生活ハンドブック 資料&成分表(第一学習社)		
履修学年	第1学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

◇人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的に取り組む態度を身に付ける。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

◇教科書以外のプリント、資料を積極的に活用した学習を進め、生活に必要な知識を身に付けることを目的とした授業を行います。
◇実践的・体験的な活動を通して、家庭生活に関する必要な技能と、日常生活に興味・関心をもてるような学習をします。

学習計画(考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	生活のマネジメント 青年期の課題と自立 家族・家庭生活 子どもの生活と子育て 共生社会をつくる	自分の将来をイメージする。 自己実現に向けての準備 家族の定義を理解する。 人間は成長していく存在であることを知る。 社会保障制度について理解する。	・将来、どんな生き方をするのか、どんな仕事をするのか考えます。 ・成年年齢が18歳になりました。では、何歳で何ができるか学習します。 ・法律から見る家族や家庭について調べます。 ・乳児や幼児の成長や発達について学習します。 ・社会保障の2つの財源と4つの柱について学習します。 (各単元において学習したことは、まとめてグループで発表したり、全体で発表したりして、共有します。)
二学期	持続可能な社会をつくる 経済生活のマネジメント 食生活のマネジメント 衣生活のマネジメント	持続可能な社会の実現 経済的自立について理解する。 食事のもつ意味を知る。 人間と被服の関係を知る。	・生活と環境のかかわりを知り、持続可能な消費生活について学びます。 ・経済のしくみを知り、お金と上手につきあう術を考えましょう。 ・栄養バランスの良い食事の献立を考え、調理実習をします。 ・浴衣や着物を実際に着て、日本の美しい民族衣装に関する知識を深めます。 (各単元において学習したことは、まとめてグループで発表したり、全体で発表したりして、共有します。)
三学期	住生活のマネジメント 生活をデザインする	住まいの役割や重要性の理解 自分らしいライフスタイルや価値観の形成に関心を持つ。	・住まいの機能と住まい方について学習します。 ・なりたい私になるために、将来を自分でデザインし、ライフプランをたててみましょう。 (各単元において学習したことは、まとめてグループで発表したり、全体で発表したりして、共有します。)

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・単元テスト ・調理実習において調理した料理や被服関連の作品	・単元テスト(記述問題) ・調理実習において調理した料理や被服関連の作品 ・単元ごとの演習	・単元テスト ・調理実習や被服関連の作品制作の様子 ・授業態度全般 ・提出課題
評価指標	・単元テストにおいて学習した内容を理解しているかを判断し評価します。 ・調理実習の様子や被服関連の作品制作の様子から技能について評価します。	・料理の盛り付けや被服関連の作品の創意・工夫で評価します。 ・話し合い活動等で、具体的な事例や演習を通して考えを深め、まとめたり発表したりしているかで評価します。	・単元の実習や演習において積極的に取り組み、考えようとしているかを評価します。 ・提出物はきちんと提出期限内に提出しているかを評価します。

留意点(担当者からのメッセージ)

◇今年度から新学習指導要領に変わり、調理実習、被服作品の制作、演習等、体験的な内容の授業が増えています。様々な技能を身に付けて実際の生活においても実践していきましょう。
◇調理実習や演習のグループでの活動は積極的に参加して、自分の意見や考えを発表しましょう。

【情報科】 情報 I	教科書	高校情報 I Python (実教出版)			
	副教材	使用しません(補助プリント等適宜利用)			
履修学年	第1学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

- ◇プログラムの基本的な構造や思考法を理解できる。
- ◇情報モラルやメディアリテラシーについて理解し、身の回りの情報機器を適切に使用できる。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

- ◇Life is Tech Lesson の教材を用いて、それぞれのペースで授業を進めていきます。
- ◇情報機器および GoogleWorkspace を積極的に用いて学習をします。

学習計画(考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	第1章 情報社会	・情報の性質	・情報の定義や特徴、情報社会における問題解決の考え方や法規について具体例を交えて学習する。 ・メディアリテラシーについて学び、情報デザインやプレゼンテーションの方法について学習する。
	第2章 情報デザイン	・メディアリテラシー ・情報デザイン	
二学期	第3章 デジタル	・情報のデジタル表現	・数値や文字等の基本的な情報や、音や画像などの情報のデジタル表現について、学習する。 ・インターネットなど、情報システムの仕組みについて学習する。 ・具体的な事例を交え、データの活用法について考える。
	第4章 ネットワーク	・インターネット ・情報システム	
	第5章 問題解決	・データの活用	
三学期	第6章 プログラミング	・プログラミングの基本 ・配列、関数のプログラム	・プログラムの基本的な構造や関数の使い方、プログラミングの思考法について実践を交えて学習する。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において A+、A、B、C、C- の5段階で行います。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	・小テスト ・単元テスト ・課題提出	・授業中の質疑応答 ・プレゼンテーション ・小テスト ・単元テスト	・小テスト ・単元テスト ・授業態度 ・提出課題等
評価指標	・各テストにおいて、学習した内容を理解しているか評価します。 ・提出された課題を確認し、学習した内容を理解しているか評価します。	・与えられたデータから必要な情報を読み取り、適切に活用することができるかを評価します。 ・情報社会における問題解決能力を評価します。	・積極的に取り組む姿勢を見て評価します。 ・授業態度や提出課題の状況を評価します。

留意点(担当者からのメッセージ)

- ◇授業においては学ぶ姿勢が大切です。目標をもって学習に取り組んでください。
- ◇知識や理解の定着に近道はありません。繰り返し復習をし、その過程で理解を深めてください。

【工芸科】 木工芸基礎	教科書	木工の基本を学ぶ(主婦の友社)			
	副教材	工芸 I (日本文教出版)			
履修学年	第1学年	履修形態	必修・選択	履修単位	4単位

学習(到達)目標(授業を通して、身に付ける力)

◇木工芸の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の木工芸や木工芸文化と幅広く関わる資質・能力を高める。

学習方法(授業の進め方や工夫点など)

◇教科書以外のプリントや資料も積極的に活用し、視聴覚教材を活用した授業を行う。
◇制作を進める上で、作品の造形やデザインに、独自性があるものを多く取り入れられるように工夫し、木工芸品を生活の中で活用し、親しむこころを養う。

学習計画

学期	単元名	学習項目	主な学習活動
一学期	工具の準備 工具の手入れ 指物	オリエンテーション 工具の準備 ほぞ加工	・工具や道具について、理解を深める。 ・素材としての木だけでなく、林業や森林環境なども含め、工芸とのかかわりを考える。 ・木材の接合、組み方を学ぶためのほぞ加工を練習する。
	スツール制作 小物制作	すわる一身体を支える 鑑賞会 木製食器制作	・用途や目的と姿勢、材料と構造を理解し、実用性を満たした上で、豊かなデザイン性を持つスツールを制作する。 ・木の持つ風合いやあたたかさを生かし、素材の特徴を生かしたデザインを考案し制作する。 ・互いの作品を鑑賞することで意見を交換する。 ・実際に使用することを想定し、生活の中で役立つデザインを構想する。 ・木製の食器や身近な生活で役立つ木工作品を制作する。
三学期	曲げわっぱ制作	曲げ物 鑑賞会	・曲げわっぱの用途を理解し、木の性質や伝統的な技法(曲げの技法)、意匠についても知識を深める。 ・互いの作品を鑑賞することで意見を交換する。

学習評価(成績評価は、次の3つの観点において、A⁺、A、B、C、C⁻の5段階で行います)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価項目	課題作品 ワークシート 制作の様子	ワークシート 課題作品 鑑賞会の様子	授業中の制作態度 授業中の鑑賞態度 授業を受ける態度 提出物
評価指標	・造形の要素の働きを理解している。[知識] ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージで作風、様式などで捉えることを理解している。[知識] ・制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。[技能] ・手順や技法などを吟味し、創造的に表している。[技能]	・自然や素材、自己の思いなどから心豊かな発想をしている。[発想] ・用途や美しさとの調和を考え、日本の伝統的な表現のよさを生かした制作の構想を練っている。[構想] ・工芸作品や文化遺産などから日本の工芸の特質や美意識を感じ取り、工芸の伝統と文化について考え、見方や感じ方を深めている。[鑑賞]	・主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている。 [表現に対する態度] ・主体的に作品や工芸の伝統と文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 [鑑賞に対する態度]

留意点(担当者からのメッセージ)

◇基本的な工具の使い方を理解し、怪我をしない、させないようにしましょう。
◇授業では「基本」を大事にしています。制作では、みんなで協力し「創る喜び」や「自然と人間のかかわり」について学習しましょう。
◇授業には作業着・安全靴で参加してください。